

2023年9月19日

AI 技術利用技術委員会
コアメンバー 各位

一般社団法人日本粉体工業技術協会
AI 技術利用委員会
委員長 酒井幹夫

2023年度第3回コアミーティングの開催

平素は何かと協会活動にご支援・ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。
国際粉体工業展大阪の AI 技術利用セミナーの後、第3回コアミーティングを下記のとおり開催いたします。ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

日時：2023年10月12日（木）12:20～13:45

※ 昼食(弁当)を用意しています

※AI 技術利用に関するセミナー 10:00～12:10 6号館5階 ホールG

セミナー概要は次ページをご確認ください。

場所：インテックス大阪 展示会場内 アーケード3（4・5号館間2階）ロフト3
Web 会議



1. 前回議事録の確認
2. 国際粉体工業展大阪 2023「AI 技術利用に関するセミナー」反省
3. 第2回アンケート報告
4. 2023年度 第2回 AI 技術利用委員会計画
5. その他

出席者：酒井委員長、山本・島田各副委員長、山田・奥山特別委員
後藤・六車・政井・長門・荻・笹辺各委員、事務局2名 計13名

以上

AI 技術利用に関するセミナー

10:00～10:10

APPIE における AI 技術利用委員会の活動について

酒井 幹夫氏 AI 技術利用委員会 委員長／東京大学大学院 工学系研究科原子力国際専攻 教授

10:10～10:50

製造プロセスの生産性向上:「できたこと」と「できていないこと」

加納 学氏京都大学 教授

誰もが生産性を向上させたいと願う。そのために、製造設備の操業データを解析している(したいと思っている)技術者は多いだろう。合目的な良いモデルができるかどうかにかかっている。本講演では、共同研究の成功事例、つまり「できたこと」を紹介すると共に、野望も含めて「できていないこと」を共有したい。

10:50～11:30

アステラスにおける AI を用いた処方設計への取り組み

梅本 佳昭氏アステラス製薬(株) CMC ディベロップメント 製剤研究所 処方設計研究室

医薬品の製剤開発では、種々の品質規格を全て満たす処方を設計する必要があり、そのために数多くの検討が行われています。アステラスでは、速く効率的な製剤開発に向け、主要な品質項目が全て最適化された錠剤処方を提示する AI の開発を推進しており、本講演ではその検討結果について紹介します。

11:30～12:10

AI の産業利用のための品質マネジメントガイドライン

大岩 寛氏国立研究開発法人産業技術総合研究所 デジタルアーキテクチャ研究センター 副研究センター長

AI が社会に広まるにつれ、技術への期待と同時に不安の指摘もあり、欧州など各種のルール作りの動きが近年活発になっている。本講演では、産業で用いる機械学習 AI の品質を作り込み、確認し、説明するための「機械学習品質マネジメントガイドライン」の策定の取り組みや、最近の標準化・ルール化の動向などについて紹介する。